

モニタリング結果報告書

施設 三崎漁港本港特別泊地・本港環境整備施設

指定管理者 株式会社三浦海業公社

施設所管課 東部漁港事務所（水産課）

（平成 22 年度 下半期）

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考（確認事項等）
10月	11月8日	11月29日	月報・現地確認等で適切業務を確認した。
11月	12月6日	12月14日	月報・現地確認等で適切業務を確認した。
12月	1月7日	1月17日	月報・現地確認等で適切業務を確認した。
1月	2月7日	2月14日	月報・現地確認等で適切業務を確認した。
2月	3月7日	3月10日	月報・現地確認等で適切業務を確認した。
3月	3月31日	3月31日	月報・現地確認等で適切業務を確認した。

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A：提案を上回る B：提案どおり C：提案を下回る

(2) 実施状況等

〔指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。〕

<提案内容の概要>

本港ゲストバースにおいて、施設利用者の拡大を図るため、イベントの実施を提案した。
本港ゲストバースにおいて、レンタルボート事業の実施を提案した。

<実施状況>

○ 海の駅祭り

第5回北条・里見水軍ヨットレース

ゲストバース利用者拡大のためヨットレースを開催した。

（平成22年11月21日） 参加艇 21艇

○ レンタルボート

本港ゲストバースの周知及び利用率向上を目的として、レンタルボート事業を行った。

利用件数 103件

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額			支出額	収支差額	
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入			
年間予算額	32,510	0	30,810	1,700	32,510	0
上半期計 (a)	18,499	0	16,345 (17,308)	2,154	17,804	695
下半期計 (b)	12,715	0	12,119 (13,334)	596	13,461	△745
10月	2,323	0	2,147 (2,201)	176	2,264	59
11月	2,212	0	2,072 (2,197)	140	2,203	9
12月	2,451	0	2,368 (2,436)	83	2,303	148
1月	2,421	0	2,334 (2,295)	87	2,435	△14
2月	2,031	0	1,951 (1,799)	80	2,157	△125
3月	1,274	0	1,246 (2,403)	28	2,097	△823
合計 (a + b)	31,215	0	28,464 (30,643)	2,750	31,265	△50

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

利用料金の主な収入源は、駐車場利用料となっているが、祝日や日曜日、12月24日から27日には強風波浪注意報などが出されるなど、観光客の来場が見込まれる日の天候に恵まれなかった。

また、3月11日の東日本大震災の影響で、例年利用率が伸びる3月後半の春休みの時期に海に隣接する当施設を訪れる観光客はほとんどなかった。

年間を通じては、横浜横須賀道路の割引率が東名等の路線に比べて低く割高感があったと思われる、ガソリン価格の上下が激しいことなどマイナス要因が多かったが、収入が伸び悩んだため、支出を抑え、年間の収支差額はマイナス5万円となっている。

(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況	なし	
支出の状況	なし	
積立等の状況	なし	(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

本港特別泊地（ゲストバース）

	利用隻数	前年同月利用隻数	前年対比増減率
上半期計 (a)	1, 233隻	1, 384隻	△10.9%
下半期計 (b)	390隻	482隻	△19.1%
10月	122隻	149隻	△18.1%
11月	96隻	119隻	△19.3%
12月	46隻	54隻	△14.8%
1月	55隻	79隻	△30.4%
2月	46隻	28隻	64.3%
3月	25隻	53隻	△52.8%
合計 (a+b)	1, 623隻	1, 866隻	△13.0%

利用状況に関する意見等

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

10月30日（土）に台風14号が関東に接近したことを初めとして、祝日や日曜日、更には冬休みに入った12月24日から27日には強風波浪注意報などが出されるなど、利用が見込まれる日の天候に恵まれなかった。

また、3月11日の東日本大震災の影響で、例年利用率が伸びる3月後半の春休みの時期にゲストバースを訪れる艇がほとんどなかった。

本港環境整備施設（駐車場）

	利用台数	前年同月利用台数	前年対比増減率
上半期計 (a)	55, 463台	56, 331台	△1.5%
下半期計 (b)	46, 980台	50, 561台	△7.1%
10月	7, 913台	7, 645台	3.5%
11月	7, 551台	7, 651台	△1.3%
12月	9, 543台	9, 714台	△1.8%
1月	8, 934台	8, 734台	2.3%
2月	7, 752台	7, 392台	4.9%
3月	5, 287台	9, 425台	△43.9%
合計 (a+b)	102, 443台	106, 892台	△4.2%

利用状況に関する意見等

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

下半期の利用状況は、前年度と2月までは、ほぼ同じ利用状況であったが、3月11日の東日本大震災の影響で、ゲストバース同様、例年利用率が伸びる3月後半の春休みの時期に来場する車が激減した。

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分) なし

(施設所管課受付分) なし

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10月						
11月						
12月						
1月						
2月						
3月						

報告月	口頭	文書	合計
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・特になし	
	・	
職員対応	・特になし	
	・	
事業内容	・特になし	
	・	
その他	・特になし	
	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

なし

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

なし

〔 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。 〕

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			

9 下半期の所見等

〔 1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。 〕

指定管理者

前年に比べ下半期は、ゲストバース、駐車場の利用は減少し利用料金は減になったが、自主事業を行い、その他収入（自主事業）の増を図った。なお、施設の一層の利用率向上のため、施設の周知及び集客を目的としたヨットレースなどのイベントを実施した。

施設所管課

利用者数は、前年に比べゲストバースの利用、駐車場の利用ともに減少しているが、イベントを実施するなどして、利用者の増に努めている。
また、10月24日（日）に開催された「三崎港まつり」への来客のため、駐車場を無料開放し、このまつりを支援している。当日は、516台の利用があったが、丁寧な誘導を行い、交通事故の防止に努めていた。